

1 朝の散歩、朝食



雲が低い



豊中の宿 民宿かねほん 昔の家、寒そう
←川のせせらぎが心地よい



オコジョの像



六地藏



背の高い消火栓



檜枝岐小・中



寒いんだらうね



檜枝岐村役場



朝食も郷土食。岩魚の煮付け、山菜や地元の野菜、変わったところでは、ジャガイモを切って干して衣をつけて煮た？焼いた？もの、そして香りのいい舞茸ご飯（とてもおいしいです）。おばあちゃんの作る味噌汁をしっかりと食べて熱中症予防です

2 尾瀬散策



御池駐車場から沼山峠まではシャトルバス。環境を考えた電気バス。

ガイドの石塚さん（丁寧で博識）と通称リンリン（明るく元気、朝からパワフル）





しばらくは山道。ちょっとつむぎ加減ですが……。疲れた～と言葉にはしませんが……。



峠の展望台で少しだけ休憩&水分補給

食虫植物モウセンゴケ



鹿対策のため湿原をネットで囲む

新しい木道に補修中、ヘリで運搬

シロナンテンだっけ？



山を抜けて大江湿原へ 右側の木道を歩くのがマナー

ここでもパワフルなリンリン



燧ヶ岳2356m
東北最高峰の火山で、尾瀬は噴火により川がでせき止められ湿原になった



熊鈴を鳴らして尾瀬沼ビジターセンターの方へ



尾瀬沼の見えるところでお弁当。ボリュームのある梅おにぎり、卵焼き（人により微妙に味が違うのが面白い）。かなりおいしい。



水が冷たい



ビジターセンター内の展示



ここが県境、右足は福島県、左足は群馬県



尾瀬沼→大江湿原→山道を登って下って→沼山峠からシャトルバスに乗って→御池駐車場に帰ってきました。行程は約6kmぐらいですが山道はちょっときついかも。少し汗ばんだ顔に涼しい風が心地よい。ここで2名のガイドさんとお別れです。

3 体験活動3〔歌舞伎化粧体験〕



歌舞伎の歴史を聞いてから化粧スタート。下地が大事みたい（何でも基礎は大事なんです）。みんな楽しそうです。

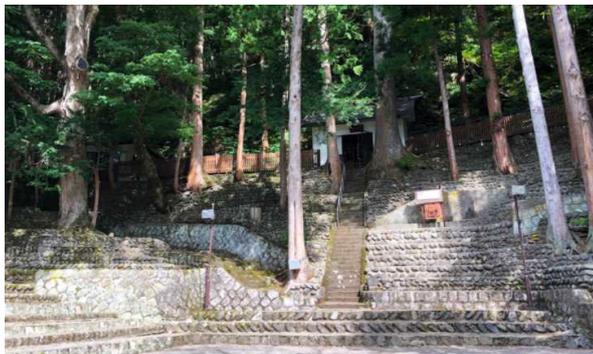


完成したら、歌舞伎の舞台へ移動して、「みえ」をきってポーズ。



檜枝岐歌舞伎は、村人がお伊勢参りの祭に見た歌舞伎を村に伝えたのが始まりとされ、270年以上の歴史がある。親から子へと技と精神を継承し神に捧げる奉納歌舞伎として続いたもので、国の重要無形文化財に指定されている。岩でつくられた観客席と周りを囲む杉林にある舞台は、独特の神々しい雰囲気を感じます。伝承への想いが宿る、神社を抱く、天然の劇場です。

化粧をしたまま、宿まで歩いて移動。すれ違う車がスピードを落としてじっくりと見ていきました。みんなで歩けば恥ずかしくない！



何となく他の所より気温が低いような気がしたのは神域だからでしょうか？



みんなの化粧は、かなりクオリティが高いとのこと。誰だかわかりますか？



この後、化粧を落とすのが結構大変でした。特に男子生徒は、化粧落としも貴重な初めての体験だったかも。



実際はこんな感じ

4 夕食



- 岩魚のさしみ（とても新鮮。臭みとか全くない。）
- はっとう（やはりプロが作ったものは別格。）
- 様々な山菜や地物野菜をつかった和え物や漬け物（特に「ミョウガ（丸ごとの漬け物）」に苦戦していた生徒が多かった。それでも食べた・・・みたい）
- なぜかゴーヤ（近年、地元で栽培しているらしい）
- カボチャをペースト状にしたもの？
- 細いうどん？（美味しい）



サンショウウオの干物発見
食事にはでなかったけど

5 ちょっとリラックス

この日は夕食前と後の2班に分けて「燧の湯へ」行きました。公共の温泉もコロナ対策のため、一度に入浴する人数を制限しているからです。（こーせー君は校長と宿の湯船で語り合いました）。



こういう時間も必要ですね。修学旅行ならではの。
今日は疲れたのか、寝るのが早かったです。充実した1日でした。



